

みずほCustomer Desk Report 2020/07/15号 (As of 2020/07/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	107.25 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.28	1.1346	121.73	1.2553	0.6937
SYD-NY High	107.42	1.1409	122.31	1.2563	0.6977
SYD-NY Low	107.12	1.1326	121.49	1.2480	0.6922
NY 5:00 PM	107.23	1.1401	122.22	1.2554	0.6975
NY DOW	26,642.59	556.79	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	10,488.58	97.73	日本10年債	0.020	▲1.00bp
S&P	3,197.52	42.30	米国2年債	0.158	0.41bp
日経平均	22,587.01	▲197.73	米国5年債	0.291	0.48bp
TOPIX	1,565.15	▲7.87	米国10年債	0.624	0.66bp
シカゴ日経先物	22,730.00	160.00	独10年債	-0.4490	▲3.05bp
ロンドンFT	6,179.75	3.56	英10年債	0.1470	▲3.50bp
DAX	12,697.36	▲102.61	豪10年債	0.9070	0.40bp
ハンセン指数	25,477.89	▲294.23	USDJPY 1M Vol	5.48	▲0.08%
上海総合	3,414.62	▲28.67	USDJPY 3M Vol	6.08	▲0.02%
NY金	1,813.40	▲0.70	USDJPY 6M Vol	7.21	▲0.07%
WTI	40.29	0.19	USDJPY 1M 25RR	-0.70	Yen Call Over
CRB指数	139.99	▲0.69	EURJPY 3M Vol	7.60	0.07%
ドルインデックス	96.26	▲0.20	EURJPY 6M Vol	8.13	0.07%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月14日	11:51	中 輸出/輸入(前年比)	6月 0.5%/2.7%	-2%/-9%
	11:57	中 貿易収支	6月 \$46.42b	\$59.60b
	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 6%/-20%	6.5%/-20.4%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	5月 8.4%/-22.8%	7.8%/-24%
	15:00	英 GDP(前月比)	5月 1.8%	5.5%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.6%/0.9%	0.6%/0.9%
	18:00	欧 鉱工業生産(前月比/前年比)	5月 12.4%/-20.9%	15.0%/-18.9%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	7月 -80.9/59.3	-65/60
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	6月 0.6%/0.6%	0.5%/0.6%
7月15日	03:00	米 プレイナードFRB理事 講演	「米経済の先行きは依然として不確実性を伴う」	

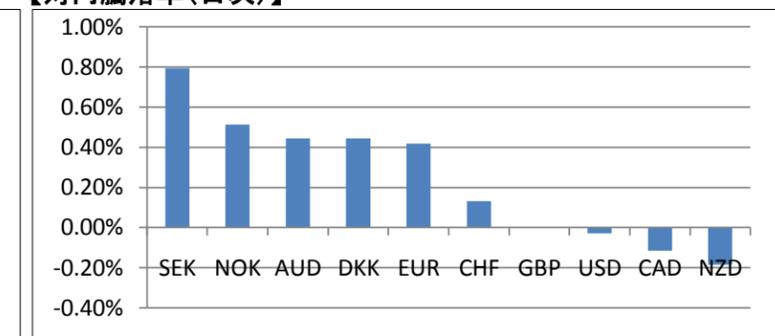
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月15日		日 日銀金融政策決定会合	-	-
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	7月 10	-0.2
7月16日	03:00	米 ベージュブック	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 ECB後のユーロ

本日、日銀金融政策決定会合の結果が公表される予定であるが、YCC、ETF等の買入れ額、新型コロナ対応の企業資金繰り支援プログラムなどすべての政策で現状維持となろう。3月に導入された資金繰りプログラムをはじめ、足許は政策の効果の波及を見極める段階にある。これは、明日結果が公表されるECB政策理事会についても同様のことが言える。ECBのラガルド総裁は、「これまでの実施した政策によって、経済データを注意深く評価する十分な時間がある」と述べており、おそらく現状維持の公算大だろう。TLTRO IIIに加え、パンデミック緊急購入プログラム(PEPP)は1.35兆ユーロ中3,550億ユーロ順調に消化。ECB後の17、18日に予定されているEU首脳会合で、7500億ユーロ規模と言われている復興基金について議論されることも様子見姿勢としたい理由の一つである。一方で、新たな基金に対しては、その規模や方法などで加盟国から主に反対意見が出ている。財政規律に厳しいオーストリアやオランダ等は貸付であり返済義務を一部儲けるべきと主張。一方で、南欧の国を中心に救済基金の貸付形式に反対を唱えている状態である。結果的に結論が出ない可能性も大いにあるものの、もし基金が立ち上がるのであればまさに「ゲームチェンジャー」となろう。かかる状況下、ブレグジットに伴う英国との交渉も残存しており、ユーロ圏の情勢は不確実性が高い。ユーロ相場においては、当面は上下に方向感の出ない展開が継続しそうだ。(原田)

東京	東京時間は107.28レベルでオープン。日経平均、中国株の軟調な動きにつられ、一時107.12まで下落。その後は小幅に買い戻されたものの、方向感の乏しい値動きに終始し、107.30レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.30レベルでオープン。ドル円は小幅な値動きに終始107.25-42で推移し107.35レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2548レベルでオープン。朝方発表された英5月単月のGDPが予想ほど回復しなかったことを受けてポンド売りの地合いに、一時1.2506まで下落し、結局1.2531レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	昨日米政府が南シナ海の海洋権益に関する中国の主張を違法との見解を示し、米中関係悪化懸念から海外市場で107.12まで下落する局面もあったが、その後は週末のEUサミットを前に欧州復興基金期待からユーロ円が上昇する動きや、米銀大手2行のアナリスト予想を上回る決算発表にドル円は下値をサポートされ、107.42まで戻し、107.35レベルでNYオープン。朝方は米6月CPIが予想をやや上回ったものの、コロナによる消費パターンの変化との見方にドル円の反応は限定的となる。その後は米株市場が上昇する中、リスク志向のドル売りに107.20まで反落する。午後米プレイナードFRB理事がマインズ金利導入に対する否定的な見方を示す一方、ドル売りが継続しドル円は107.16まで下落するが、トランプ大統領が中国に対する措置を本日夕方5時に降発表とのヘッドラインが伝わるとリスク回避からドルが買い戻される展開に、107.29まで戻す。終盤に掛けてはトランプ大統領の記者会見を控え、様子見が続き、107.23レベルでクロスした。一方、週末のEUサミットに対する期待や、米株先物が上昇する中、リスク志向からドル売りが強まり、海外市場で1.1381まで戻したユーロドルは、1.1378レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫く続くが、ドル売りが再び優勢となり、6/10に付けた高値1.1422に迫る、1.1409まで上伸する。午後は、本日夕方の中国に関するトランプ大統領の会見を警戒したドル買い戻しに1.1387まで反落し、1.1401レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14